

I 第50週の発生動向 (2016/12/12~2016/12/18)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. インフルエンザについては、県全体の定点当たり患者報告数が前週の1.11から2.22と2倍に増加しました。全ての保健所管内で増加し、特に五所川原保健所管内では前週の2.43から7.86に大幅に増加しました。県内で、AH3亜型のインフルエンザウイルスが検出されました。
3. 感染性胃腸炎については、上十三保健所管内で患者報告数が大幅に増加し、東地方+青森市保健所、上十三保健所管内では、警報レベル開始基準値である定点当たり報告数20に近づいています。予防に心がけるとともに、今後の発生動向に十分注意が必要です。【第49週の「感染症の窓」参照】
なお、第50週の報告数の約6割が6歳以下ですので、特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

II 第50週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	18	1.38	12	0.80	10	0.67	55	7.86	47	5.22	2	0.33	144	2.22	72
小児科	RSウイルス感染症	7	0.88	5	0.56	2	0.20	3	0.60	10	1.67			27	0.64	12
	咽頭結膜熱	2	0.25	8	0.89	3	0.30	3	0.60					16	0.38	-2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.13	18	2.00	38	3.80	5	1.00	2	0.33	8	2.00	72	1.71	10
	感染性胃腸炎	122	15.25	56	6.22	78	7.80	47	9.40	107	17.83	45	11.25	455	10.83	94
	水痘			5	0.56	2	0.20	1	0.20	3	0.50	1	0.25	12	0.29	7
	手足口病			1	0.11	2	0.20	2	0.40	3	0.50			8	0.19	-1
	伝染性紅斑	6	0.75			1	0.10			1	0.17	1	0.25	9	0.21	-1
	突発性発しん	3	0.38	3	0.33	6	0.60	2	0.40	4	0.67	1	0.25	19	0.45	7
	百日咳											1	0.25	1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	1	0.13	1	0.11	2	0.20	2	0.40			1	0.25	7	0.17	-3
流行性耳下腺炎	5	0.63			2	0.20	1	0.20	1	0.17	10	2.50	19	0.45	13	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00					1	1.00					3	0.27	-8
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00	1	1.00	1	1.00					3	3.00	6	1.00	3
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00					1	0.17	0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

年末年始 海外で注意が必要な感染症

年末年始には海外へ渡航される方が多くなります。海外で感染症にかからないためにも正しい知識と予防方法を身につけましょう。

海外で注意すべき感染症

主な感染源	食べ物・水	蚊	動物	人	沼や湖・河川	事故・ケガ		
注意すべき感染症	A型肝炎 E型肝炎 コレラ 消化管寄生虫症	赤痢 腸チフス ノロウイルス	マラリア デング熱 日本脳炎 ジカウイルス 感染症	黄熱 ウエストナイル熱 チクングニア熱	狂犬病 鳥インフルエンザ MERS	麻しん 風しん ポリオ	レプトスピラ症 住血吸虫症	破傷風

予防接種が受けられる感染症については事前に接種を検討し、また、帰国後、体調に不安のある場合は早急に医療機関を受診しましょう。

検疫所や外務省のホームページで渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。公衆衛生の整備が不十分な地域では感染するリスクがより高いので、手洗いをこまめにする、生水を飲まない、氷を避ける、完全に火の通った食べ物を食べる、サラダや生の野菜を避けるなどの注意が必要です。

※ 詳しくはこちらをご覧ください→

[FORTH/厚生労働省検疫所 HP \(海外で健康に過ごすために\)](#)

[外務省 海外安全HP \(医療・健康関連情報\)](#)

[厚生労働省HP 『年末年始における海外での感染症予防について』](#)

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市1人、八戸1人、五所川原1人 (2016年計:283人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計: 8人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計: 17人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計: 24人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、11/30)・・・ヒトライノウイルスA：弘前1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第33週～2016年第50週)

第50週の患者報告数は144人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは142人

【A型：142人、B型：0人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
東地方																		
弘前							1					1		4		3	6	12
八戸												9	3	7	2	8	7	10
五所川原	1											4	1	1	3	2	17	55
上十三													2	1	8	35	30	47
むつ														1	3	1	1	2
青森市	1				1											4	11	18
合計	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	72	144

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
東地方																		
弘前							1					1		4		3	6	12
八戸												9	3	7	2	8	7	10
五所川原	1											4	1	1	3	2	16	55
上十三													2	1	8	35	29	45
むつ														1	3	1	1	2
青森市	1				1											4	10	18
合計	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	69	142

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
東地方																		
弘前																		
八戸																		
五所川原																		
上十三																	1	
むつ																		
青森市																	1	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

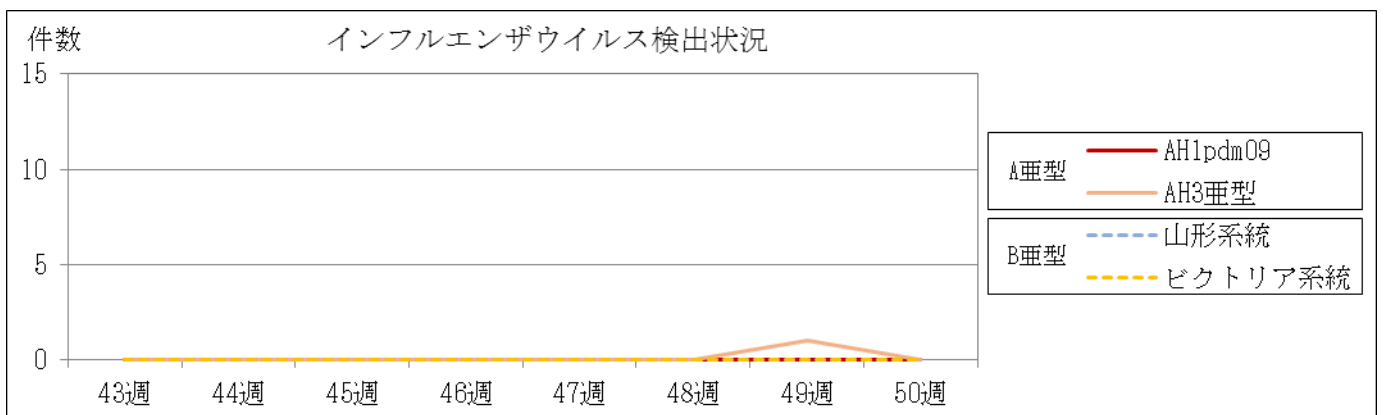
年齢区分別(人)

週	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
～5ヶ月																		
～11ヶ月																		
1歳															1		1	1
2歳												3					4	3
3歳												1	1			2	4	8
4歳												1				1	3	1
5歳														1			1	5
6歳												3			1	2	5	7
7歳														1		4		5
8歳													1	1	1	2		5
9歳														1	1	5	2	5
10～14歳													1	1	5	10	18	32
15～19歳	1													4	1	6	8	35
20～29歳	1											3			1	3	1	7
30～39歳							1						1	1	1	2	5	8
40～49歳												1	1	1	1	5	13	4
50～59歳														1	1	5	4	8
60～69歳					1							1		2	1	5	2	5
70～79歳																		3
80歳以上												1	1		1	1	1	2

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016年								直近 5週間 合計	2016/2017 シーズン 合計
		43 週	44 週	45 週	46 週	47 週	48 週	49 週	50 週		
提出検体数		0	0	0	0	0	3	1	0	4	5
A亜型	AH1pdm09						0	0		0	0
	うちタミフル耐性株										
	AH3亜型						0	1		1	1
B亜型	山形系統						0	0		0	0
	ビクトリア系統						0	0		0	0
合計（検出ウイルス数）							0	1		1	1

注 2016/2017 シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第47週～2016年第50週）

（人）

週	期間	東青 （東地方保健所・ 青森市保健所）	中南 （弘前保健所）	三八 （八戸保健所）	西北 （五所川原保健所）	上北 （上十三保健所）	下北 （むつ保健所）
47	H28.11.21 ~ H28.11.27	クロイツフェルト・ヤコブ病 1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	つつが虫病1人			
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	レジオネラ症1人		梅毒1人			
50	H28.12.12 ~ H28.12.18	レジオネラ症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	梅毒1人			

VIII 結核（二類全数把握疾患）（2016年第47週～2016年第50週）

（人）

週	期間	東青 （東地方保健所・ 青森市保健所）	中南 （弘前保健所）	三八 （八戸保健所）	西北 （五所川原保健所）	上北 （上十三保健所）	下北 （むつ保健所）
47	H28.11.21 ~ H28.11.27		1				
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		3	1		1	
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	2		3			1
50	H28.12.12 ~ H28.12.18	1		1	1		

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2016年第1週～第49週累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	22551	9	118	3540	50	19	337	260	20	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	12	58	1	13	391	327	271	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	51	8	1516	74	1067	258	1472	711

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	14	161	469	1349	68	287	43	2481	292	4259

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	125	122	55	125	152	33

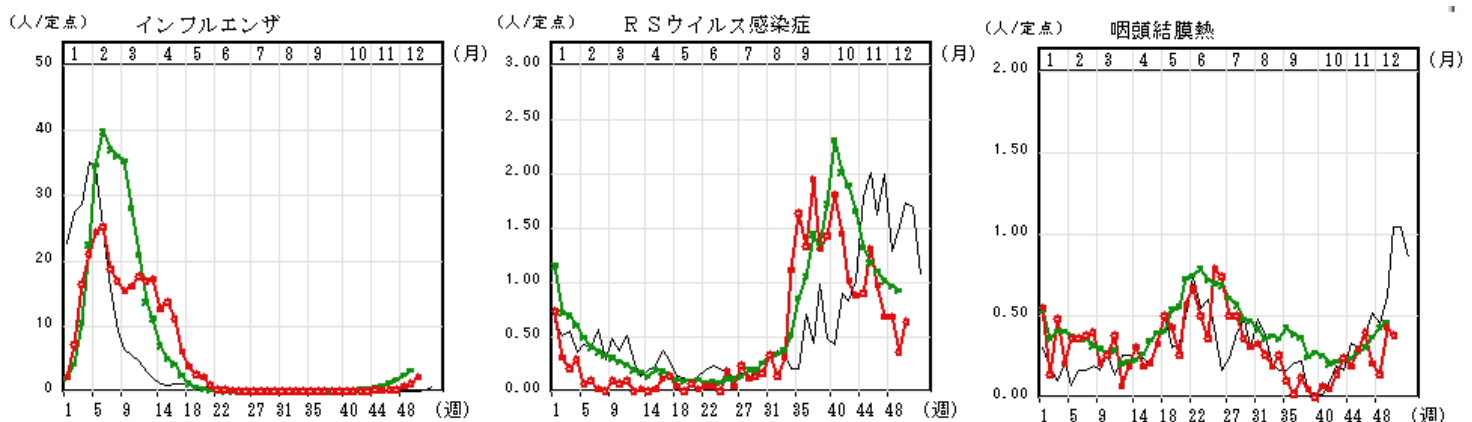
青森県（2016年第1週～第50週累計）

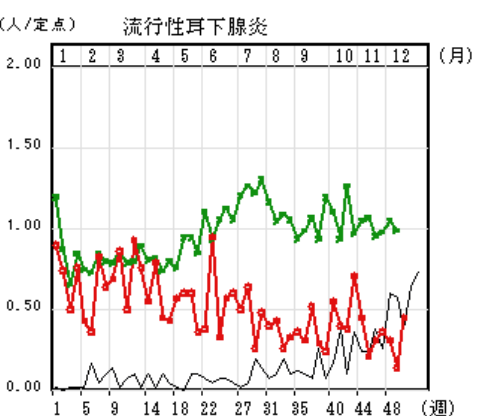
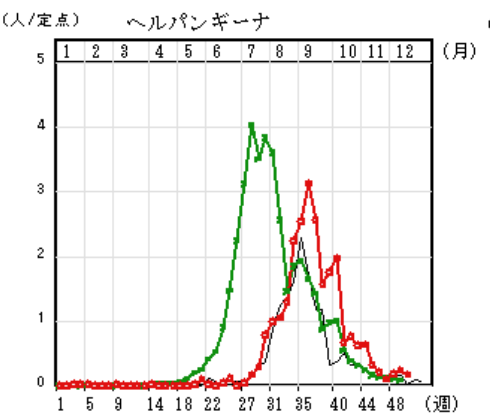
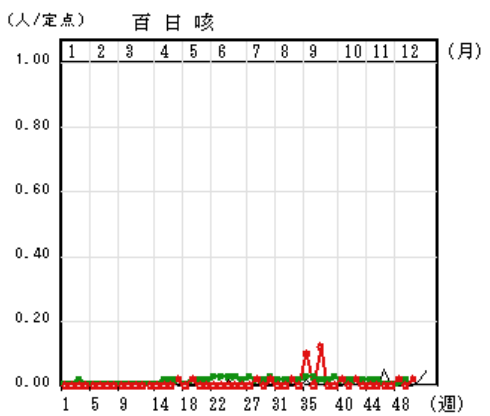
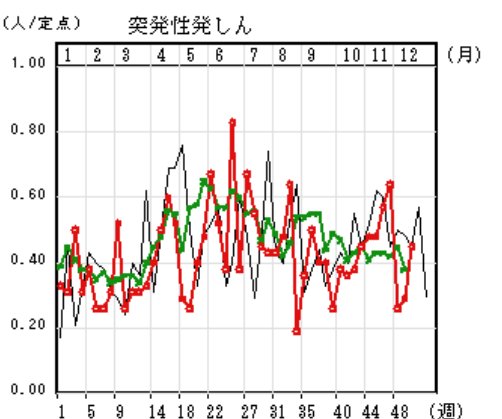
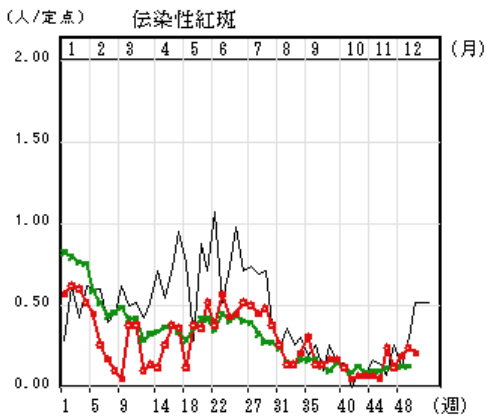
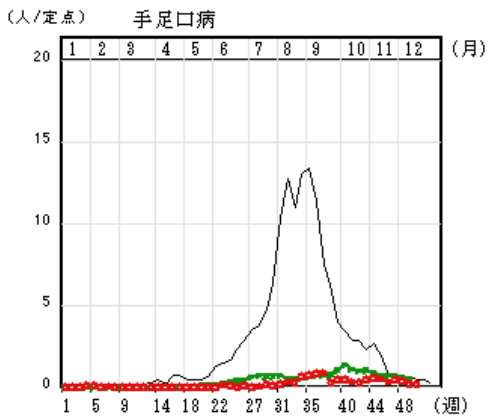
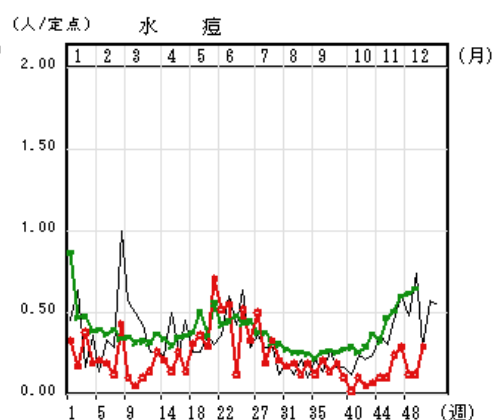
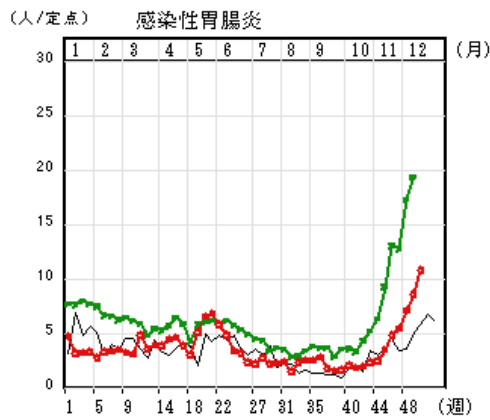
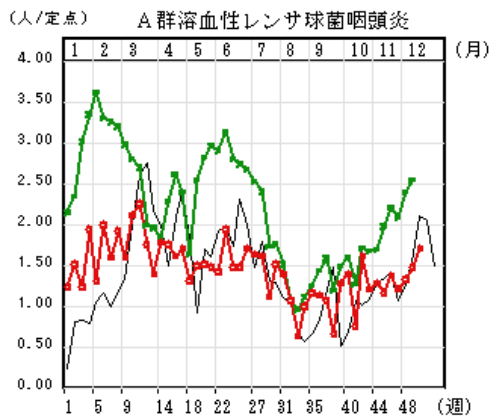
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	283	2	97	5	3	1	9	8	5	17

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	4	4	3	9	3	24	2

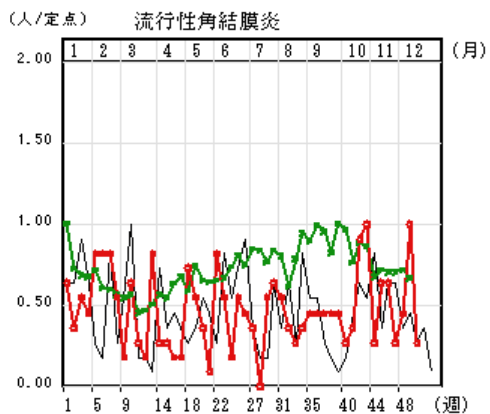
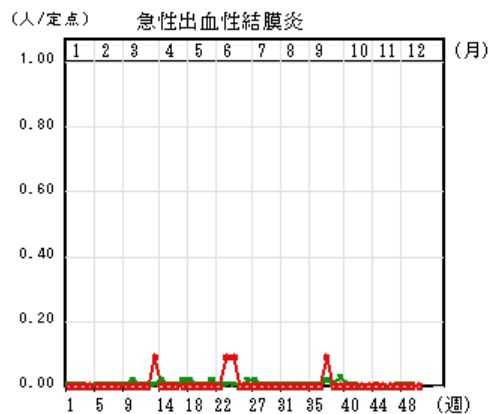
X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2016年第50週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国

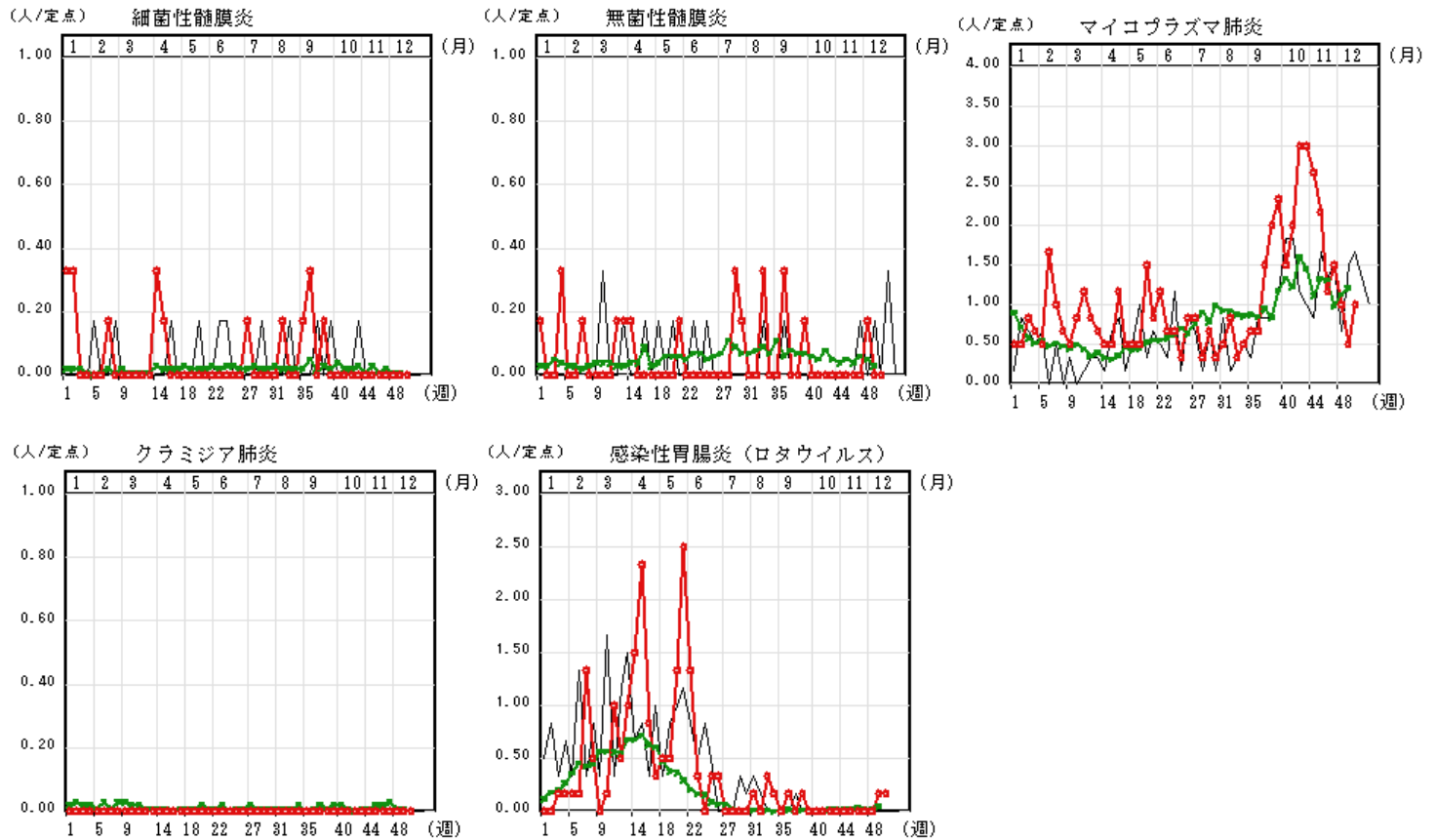




XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第50週、ただし全国は前週)



XII 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第50週、ただし全国は前週)



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第50週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	12月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44-47週	48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	9
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	23	0	168
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	1	0	20
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	23	0	385